

# 希望に向かって…

医療法人医誠会 介護老人保健施設  
**エスペラル近江八幡**  
 〒523-0071 滋賀県近江八幡市大房町 1002 番地 1  
 TEL : 0748-32-1165 FAX : 0748-32-1190

## らく はた楽トーク

vol.9



看護主任  
 ひらばやし さとこ  
**平林 智子**より

看護師として急性期病院に勤務していた頃、介護保険制度が始まりました。「在宅」が重要な位置づけなことで、私自身、住み慣れた地域と医療機関との懸け橋になりたいと思うようになり、訪問看護師になりました。訪問看護は患者さん一人ひとりとゆっくり向き合え、様々なケアや看取りを経験する中でも通じ合える利用者様がいて充実していたと思います。数年間働いた後、引き続き在宅支援に携わりたいと考え、介護老人保健施設エスペラル近江八幡で働くことになりました。

日々の業務は利用者様の健康管理が中心で、医師の診察補助や身体ケア、服薬管理などのほか、入院が必要になれば転院調整にも携わります。施設における看護師は、例えば利用者様の病状が変われば、どこまで積極的に医療の介入をするのか見極めが求められます。医療的な視点に偏ってしまうことがないよう、多職種連携をとりながら、スタッフ全員が同じ目標に向かってケアをするのが大事であり、根拠を正しく丁寧に伝えていくことが役割になると思います。

人との関わりを大事にしたいという気持ちは看護師になってからずっと変わっていません。利用者様には「当施設に居心地の良さを感じてもらえれば」と思いながら日々接しています。もちろん自宅に帰れることが一番だと思っていますし、うまくいかない歯がゆさを感じることもあります。エスペラル近江八幡で利用者様が明るく安心して過ごせる施設になるよう、日々の業務に励みたいと思います。

**スタッフ募集中!** 詳しくは採用担当者までお気軽にお問い合わせください

## 糖尿病教室 毎月第3木曜日の11時から (1時間程度)

糖尿病の症状や正しい食生活について、当院の内科医師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師・看護師等による講演です。

場所：当院 新会議室(2階)

- 11/17 理学療法士「楽しい運動療法 血糖値を効果的に下げる運動方法」  
 管理栄養士「知っているようで意外と知らない!?食品のグループ分け」
- 12/15 小瀬木医師「糖尿病は合併症が怖い!!」  
 管理栄養士「気をつけたい『さ・し・す・せ・そ』～調味料の使い方～」

参加費無料の全6回シリーズです。  
 途中の回からでもお気軽にご参加ください。



## お知らせ

### 近江八幡コース

#### シャトルバス増便しました

病院とJR近江八幡駅(北口)を結ぶ無料のシャトルバスを増便しました。

これに伴い、シャトルバスの時刻表を一部変更しております。詳しくは病院にてご確認ください。

	A-5	B-8	B-11
病院	10:00	13:15	16:00
沙々貴神社	—	—	○
安土駅	—	—	16:10
近江八幡駅北口(観光案内所前)	10:20着 10:25発	13:35着 13:40発	16:20
安土駅	10:35	13:50	
安土郵便局	○	○	
十六団地	○	—	
衣笠台	○	—	
安土役場	○	○	
西老蘇	○	○	
病院	11:00	14:10	

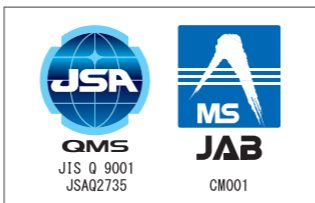
**診療科目** 内科・外科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・人工透析内科・人工透析室(38床)・リハビリテーション科・泌尿器科(休診中)

**診察日** 月～金 午前診察・午後診察 / 水・木は午後休診  
 土 午前診察 ※日曜日・祝日は休診

**診療時間** 午前診察 9:00～11:30 / 午後診察 13:30～16:00

**地域医療連携室** TEL: 0748-48-5558 FAX: 0748-48-5722

広報責任者 山本 寛人



ケータイ・スマホはこちらから!



〒529-1445 滋賀県東近江市五個荘清水鼻町 95  
 TEL: 0748-48-5555 FAX: 0748-48-5556  
 E-mail info@kanzakihp.com / URL http://kanzakihp.com

医療法人医誠会  
**神崎中央病院**



医療法人医誠会  
**神崎中央病院**

Vol.99 2016.11

発行：地域医療連携室

Pick up photo



### フットケア(人工透析室にて)

透析患者さんは軽い足病変でも重症化する危険性があります。当院では足病変の予防と早期発見のため、定期的な脚の観察やお手入れを行っています。



### contents

神崎最前線：「上半期を振り返って」  
 特集：第107回三方よし研究会 レポート  
 エスペラル近江八幡だより 希望に向かって…/ 糖尿病教室 / シャトルバス増便のお知らせ



# 上半期を振り返って

事務長 うらの としひこ  
浦野 俊彦



平成28年度も半年が経ちました。振り返ってみますと、医療法人医誠会 神崎中央病院では、東近江医療圏域で維持期・回復期を担う病院として一定の役割を確認し、役割を果たすことができたのではないかと認識しております。

東近江医療圏は2市2町の自治体に 11 の病院があり、JR琵琶湖線沿線は京阪神地域のベッドタウンとして都市化が進む一方、郊外には農業・農村地帯と工業集積地域が混在しています。少子高齢化と共に在宅医療・介護サービスの拡大が進み、当院の在り方もニーズに応じて日々見つめ直さなければなりません。

このような中、当法人は神崎中央病院のはじめ、滋賀県下には近江八幡市に介護老人保健施設エスペラル近江八幡があります。また、連携事業所にナーシングヘルスケア株式会社の訪問看護ステーション神崎、ケアプランセンター神崎、ケアプランセンター近江八幡があり、これら5つの事業所が東近江医療圏域で密な連携を図りながら、種々の医療サービスを提供しています。

当院では療養病棟、障害者病棟で長期的な入院を中心に受入れ、回復期リハビリテーション病棟、一般病棟、外来等では在宅支援機能を有しています。上半期は、月毎で変動があるものの、平均して95.2%の稼働率でした。送迎バス増便など利便性の向上や、看護師配置や回復期リハビリテーション病棟の施設基準の拡充等の体制強化を図りつつ、ISO9001 取得と電子カルテの導入、医療情報連携ネットワークへの参加、病院、診療所、介護施設等々との連携強化に向けた活動が実を結んだものであると考えています。



当院の入院は紹介からがほとんどです。時を置かず速やかに受入れる体制を整え、引き続き地域の医療情勢を注視しつつ、患者さんの声に耳を傾ける姿勢で地域医療、地域福祉に貢献して参りたいと考えています。これらはもちろん地域の事業所や専門職の皆さまとの協力・連携が大前提となって参ります。引き続き当グループとの連携をよろしくお願い申し上げます。

# 特集 第107回三方よし研究会 レポート

10月20日(木)に東近江市愛東支所(じゅぴあ)で第107回三方よし研究会が開催されました。今回は神崎中央病院、東近江介護支援専門員連絡協議会、東近江介護サービス事業者協議会介護支援部門の3団体が当番で、各団体の取組紹介や、連携を必要とした困難事例の報告などがありました。



事前打ち合わせの様子

研究会は滋賀県がん患者団体連絡協議会の事業案内からはじまり、神崎中央病院の在宅支援の取り組みの案内に続いて、東近江介護支援専門員連絡協議会の楠神さんの「入退院支援についての取り組み報告」では、疾患を持つ方の在宅生活を支援するために発行したテキスト「疾患の観察ポイントと医療連携(誤嚥性肺炎、虚血性心疾患)」の紹介などがありました。



症例報告では「交通外傷からの復活を目指して」と題し、神崎中央病院回復期リハビリテーション病棟の佐藤先生と言語聴覚士の高田さん、高次脳機能障害支援センターの田邊さん、東近江市地域包括支援センターの古谷さん、老健リハビリセンターあゆみの平尾さんが順番に発表を行いました。



楠神さんの報告



佐藤先生の症例報告



専門職からの症例報告

原付バイク運転中に乗用車と衝突し、急性硬膜下血腫や骨折と共に高次脳機能障害を発症した方の事例で、在宅復帰に向けた病院での取組みや、老健施設でのリハビリ、各専門職から社会復帰に向けた工夫について報告。症例を元にしたグループワークでは、参加者が車座になって多職種・多方面連携について意見交換を行い、「高次脳機能障害という言葉と症状を知らなかった」「東近江圏域でももっと認知してもらいたい病気だと思ふ」「どこまでの回復を望まれているのか本人・家族さんの意思を確認しながら、できる仕事を探す支援をしていきたい」といった意見が出ました。



車座になってグループワーク

## 三方よし研究会

「患者よし・医療機関よし・地域よし」をめざし、当番施設の取組紹介や症例報告、意見交換などを通じて、医療・保険・福祉・介護の関係機関の機能分担と連携を検討する。東近江圏域で毎月開催されている。



グループワークでの意見を発表